

USBメモリー用パスワードロックソフト

Password Lock Security

取扱説明書

-Ver.4066-

本ソフトウェアをお使いの前に
必ずお読みください。

ご使用上の注意

「USBメモリー用パスワードロックソフト」とは、弊社製USBメモリーに保存されたデータをパスワードで保護するためのソフトウェアです。

設定したパスワードを入力し、ロックを解除した後でないとUSBメモリー内のデータにアクセスできないよう制限することができます。

※本ソフトウェアの対応製品につきましては、ダウンロードページをご覧ください。

※パスワードの設定および設定後のUSBメモリーのご使用は、Windows OS 環境のみで可能です (Windows XP では管理者権限でのみ使用可能です)。

※同時に複数のUSB 大容量記憶デバイスを使用していると、本ソフトウェアは正常に動作しません。他のUSB 大容量記憶デバイスを取り外してからご使用ください。

※インストールおよびアンインストールを行ないますと、**USBメモリー内のデータはすべて消去**されますので充分にご注意ください。

注意事項および制限事項

※本ソフトウェアを使用して設定されたパスワードの管理は、お客様ご自身の責任で管理をお願いいたします。ドライブ内のデータやパスワードなどの内容に関するサポートは一切いたしかねます。

USBメモリーにデータを保存する場合は、元データをパソコンのデスクトップなどに保管しておく事を強くお奨めいたします。

もしパスワードを紛失してしまった場合は、P.5「ログイン」の手順を参照し、本ソフトウェアを初期設定状態に戻してからお使いください。

※本ソフトウェアご使用による結果に関しては理由に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

※本ソフトウェアは、マルチ OS 環境ならびにエミュレーション環境での動作保証はいたしかねます。

インストール手順

※本ソフトウェアに対応するUSBメモリーがお使いのパソコン本体で正常に認識・動作していることをご確認の上、以下の手順を実施してください。

本ソフトウェアの対応製品につきましては、ダウンロードページをご覧ください。

※同時に複数のUSB 大容量記憶デバイスを使用していると、本ソフトウェアは正常に動作しません。他のUSB大容量記憶デバイスを取り外してから、ご使用ください。

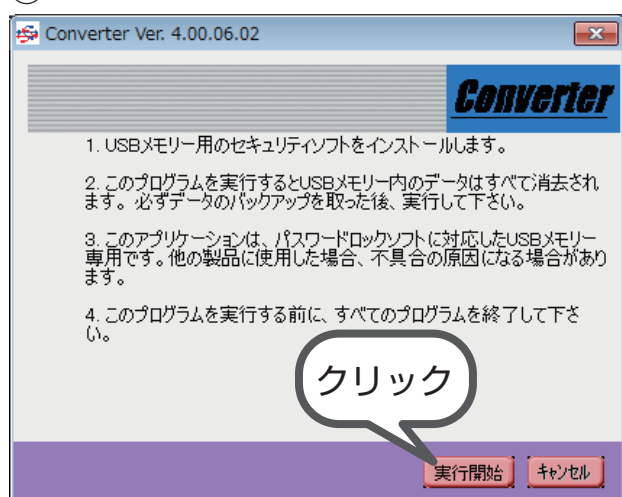
※インストールは USB メモリーに対して行なわれ、パソコン本体には影響いたしません。

※インストールを行ないますと、**USBメモリー内のデータはすべて消去**されますので充分にご注意ください。

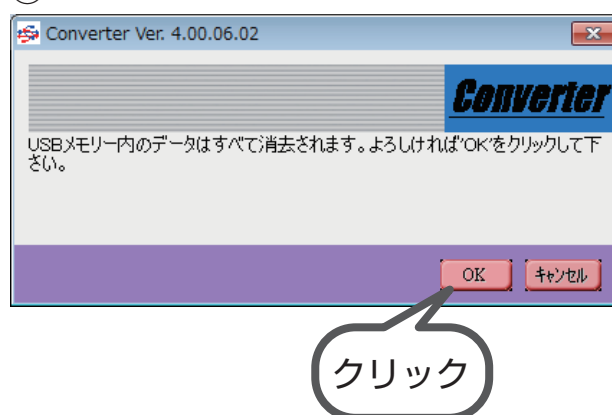
以下の手順でインストールします。

1. ダウンロードした「Converter_v40**.exe」をダブルクリックし、実行してください。（ファイル名の末尾はバージョンによって変わります。）
2. 下図の説明にしたがってインストールを進めてください。

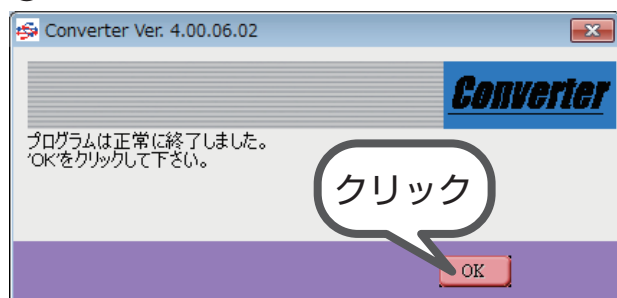
①



②



③



3. ③にて「OK」をクリックすると、ソフトのインストールが完了します。

USBメモリーをパソコン本体から取り外し、再度接続してください。

自動でパスワードロックソフトが起動します。

ご使用方法については、P.4「パスワードロックソフトの使い方」をお読みください。

アンインストール手順

パスワードロックソフトをインストールする以前の状態に戻すことができます。

※パスワードロックソフトにてパスワードが設定されている状態では、アンインストールすることができません。パスワードを削除した後、アンインストールをしてください。

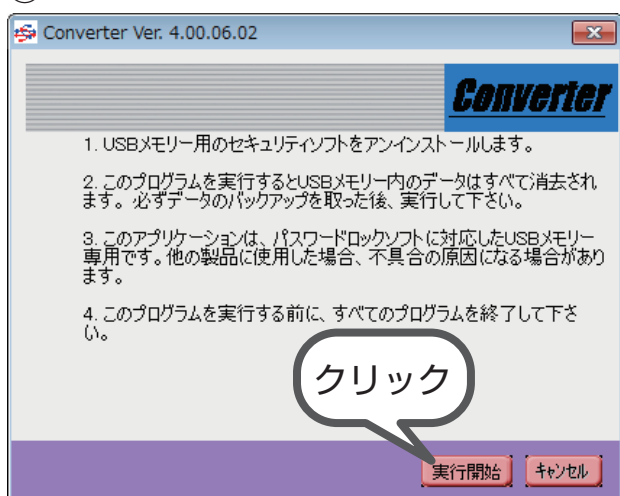
パスワード削除方法については、P.9「パスワード削除」をお読みください。

※アンインストールを行ないますと、**USBメモリー内のデータはすべて消去**されますので充分にご注意ください。

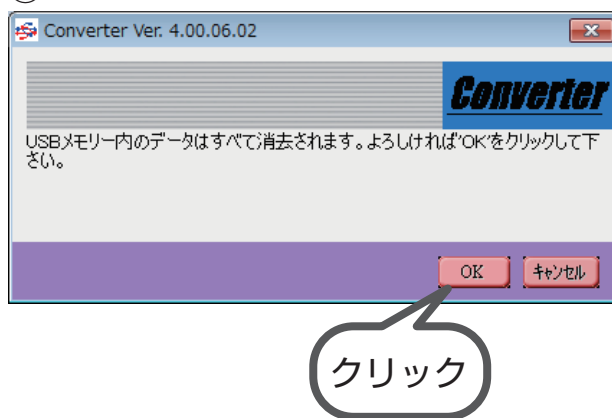
以下の手順でアンインストールします。

- 1.「マイコンピュータ」上の「Security_app」ドライブ（または「CD-ROM」ドライブ）を右クリックして「開く」をクリックします。
- 2.「Converter.exe」をダブルクリックして実行してください。
3. 下図の説明に従ってアンインストールを進めてください。

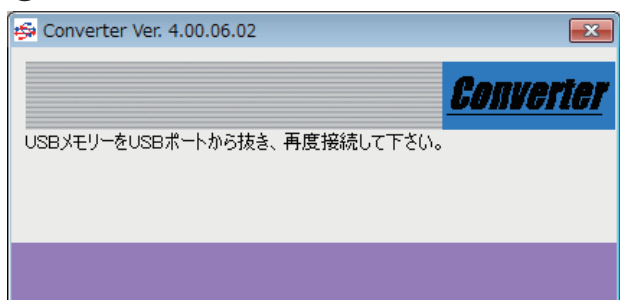
①



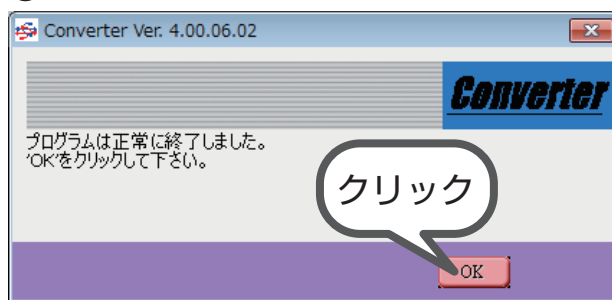
②



③



④



4. 下図③のメッセージが表示されましたら、USBメモリーをパソコン本体から取り外し再度接続してください。再度接続した後に作業が再開され、④の画面が表示されます。

「OK」をクリックするとアンインストールが完了します。

※Windows 7 以降では③でUSBメモリーを再度接続すると別ウィンドウでフォーマットするか確認のメッセージが表示されますが、「キャンセル」をクリックしてください。

パスワードロックソフトの使い方

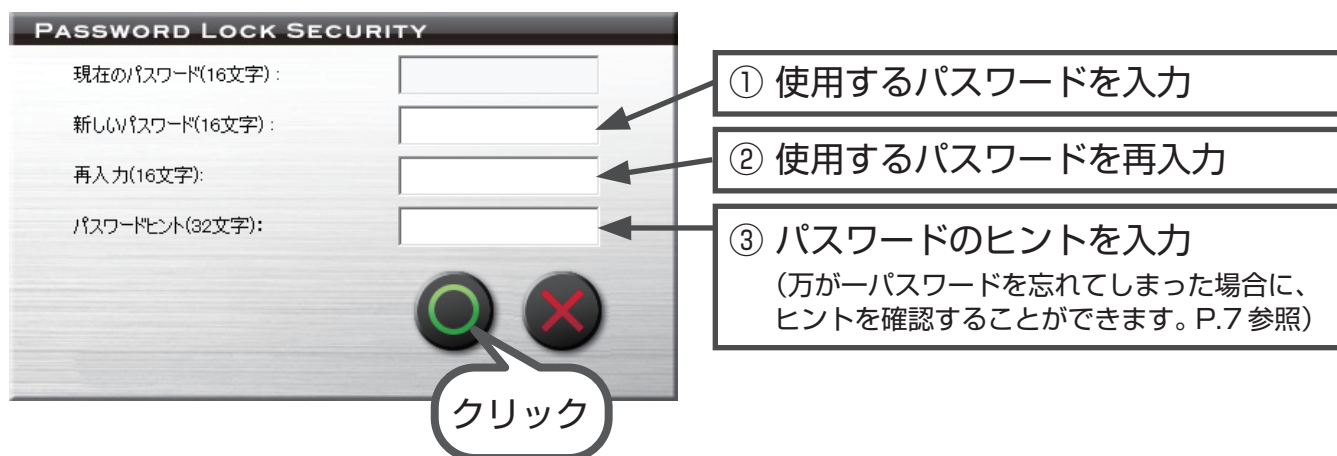
パスワード設定

パスワードロックソフトがインストールされている USB メモリーをパソコン本体の USB ポートに接続し認識が完了すると、下図の画面が自動的に起動します。

(下図の画面が自動的に表示されない場合は、「マイコンピュータ」上の「security_app」ドライブ (または「CD-ROM」ドライブ) をダブルクリックしてください。もしくは、ドライブ内の「LOCK.exe」をダブルクリックしてください。)



「パスワード設定」アイコンをクリックし、下図の説明にしたがって設定を行なってください。



④で「○」をクリックすると、下図のように表示されるので「○」をクリックします。



USBメモリーをパソコン本体から取り出し、再度接続すると、設定したパスワードが有効となります。

ログイン

パスワードが設定された状態の USB メモリーを接続すると、下図の画面が自動的に起動します。



この時点で USB メモリーは「マイコンピュータ」上に



の 2 つのドライブとして認識されています。(ドライブ文字は環境によって異なります)

「Security_app」ドライブに、パスワードロックソフト本体が入っています。

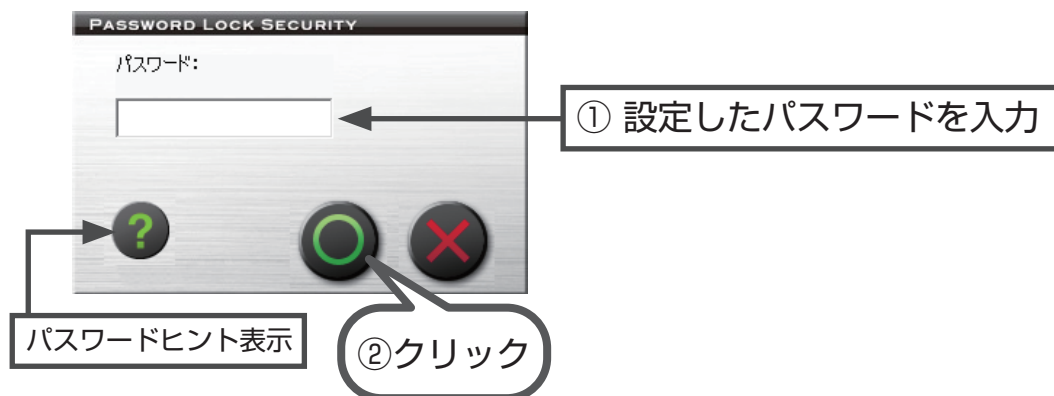
データの保存は「リムーバブルディスク (USB DISK)」ドライブに行ないます。

“USBメモリーの状態：ロック” となっている状態では、「リムーバブルディスク (USB DISK)」ドライブへのアクセスはできません。

「ログイン」アイコンをクリックし、設定されたパスワードを入力することによりロックを解除すると、アクセスできるようになります。

※Windows 7 以降では、「ロック状態」の時「マイコンピュータ」上に「リムーバブルディスク (USB DISK)」は表示されません。

下図の説明に従って、ログインを行なってください。

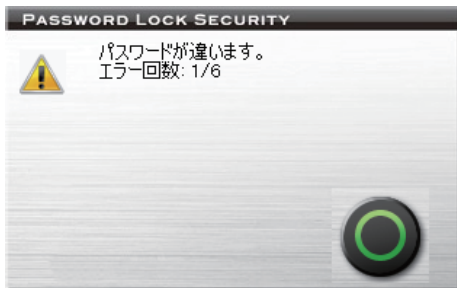


②で「○」をクリックすると、「リムーバブルディスク (USB DISK)」ドライブへのアクセスが可能となります。
USB メモリーをパソコン本体から取り外すまでロックが解除された状態になります。

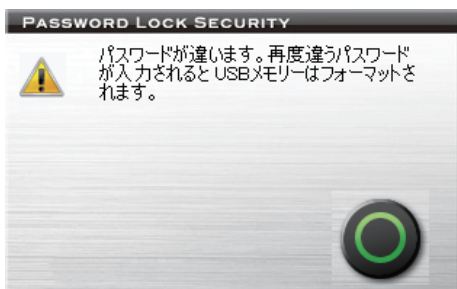
【注意】

パスワード入力時に誤ったパスワードを入力すると、ロックは解除できません。

誤ったパスワードを入力すると、



と表示され、連続して 5 回誤ったパスワードを入力すると、



と表示され、さらに誤ったパスワードを入力すると、USB メモリーはフォーマットされパスワードの設定がない状態に戻ります。

誤ったパスワードを 6 回入力すると、**USB メモリー内のデータはすべて消去**されます。

消失したデータを復旧することはできませんので、充分にご注意ください。

また、この手順はパスワードを忘れてしまった場合の初期化手段として利用することができます。

パスワードヒント

パスワードが設定された状態の USBメモリーを接続すると、下図の画面が自動的に起動します。



「パスワードヒント」アイコン（?マーク）をクリックすると、パスワード設定時に
入力したパスワードヒントを見ることができます。

下図のように表示されますので、ご確認ください。



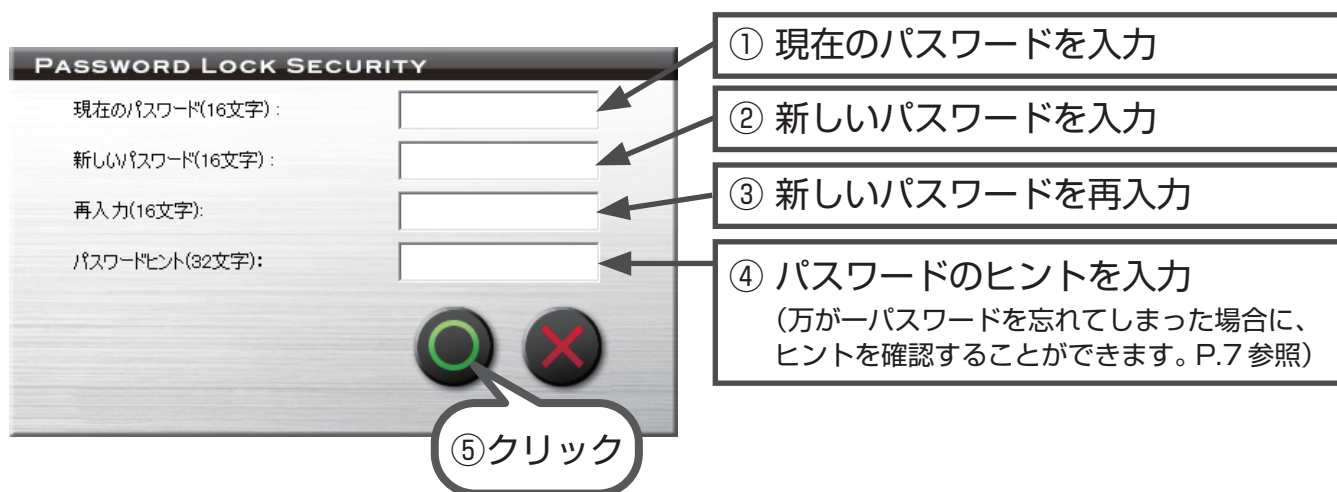
パスワード変更

パスワードが設定された状態の USBメモリーを接続すると、下図の画面が自動的に起動します。

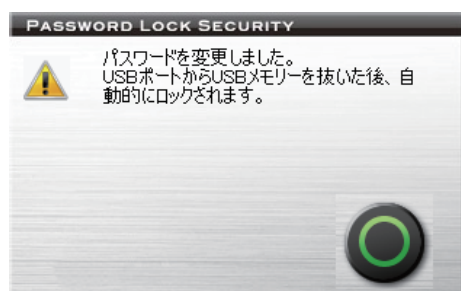


「パスワード変更」アイコンをクリックし、パスワードを変更することができます。

下図の説明に従って、設定を行なってください。



⑤で「○」をクリックすると、下図のように表示されるので「OK」をクリックします。



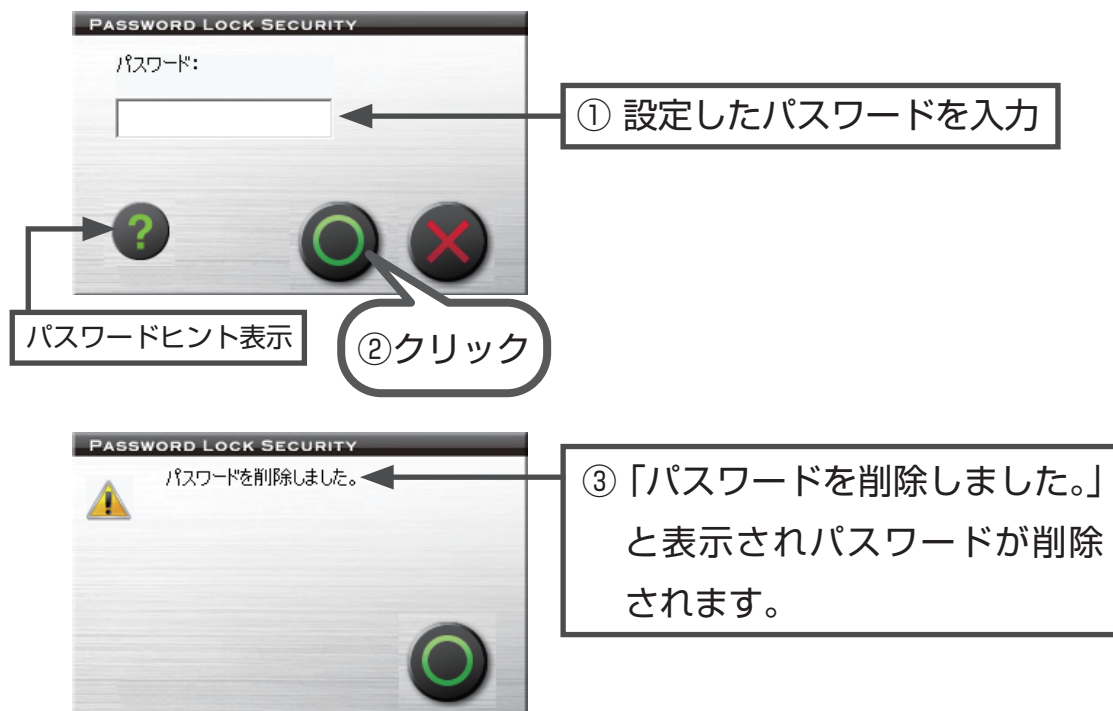
USBメモリーをパソコン本体から取り出し、再度接続すると、変更したパスワードが有効となります。

パスワード削除

パスワードが設定された状態の USBメモリーを接続すると、下図の画面が自動的に起動します。



「パスワード削除」アイコンをクリックし、パスワードを削除してパスワードを設定する以前の状態に戻すことができます。下図の説明に従って、削除を行なってください。



パスワードの再設定をする場合は、USBメモリーをパソコンから取り外し再接続した後、P.4「パスワード設定」をお読みください。

- ・ 誤ったパスワードを入力した際の注意点 (P.6) をよくお読みください。
- ・ パスワードが削除された状態では、常に「リムーバブルディスク (USB DISK)」ドライブへのアクセスが可能になっています。